

特定事業者排出量削減報告書

住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地)	京都市中京区西ノ京車坂9								
氏名(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)	医療法人社団洛和会 理事長 矢野一郎								
特定事業者の主たる業種	医療 介護機関								
該当する事業者要件	<input checked="" type="checkbox"/> 京都市地球温暖化対策条例施行規則第4条第1号該当事業者(大規模エネルギー使用事業者(原油に換算して1,500キロリットル以上)) <input type="checkbox"/> 京都市地球温暖化対策条例施行規則第4条第2号又は第3号該当事業者(大規模運送事業者(トラック又はバス100台以上/タクシー150台以上/鉄道車両150両以上)) <input type="checkbox"/> 京都市地球温暖化対策条例施行規則第4条第4号該当事業者(その他の温室効果ガスの大規模排出事業者(二酸化炭素に換算して3,000トン以上))								
計画期間	平成 20年 4月 ~ 平成 23年 3月								
基本方針	施設数増加の為、温室効果ガスの排出量は増加しますが、原単位で約9%削減を目指します。								
推進体制	各所管と連携を取り省エネに努める。 (平成21年度:各所管に環境改善行動チェック表を作成配布して省エネルギーへの取り組みを行った。) 環境マネジメントシステム名称 KES 適用範囲 洛和会香羽病院他 取得年月日 平成21年8月1日								
具体的な取組及び措置の状況	年度	設備、対象、工程等	措置内容						
	平成20年	エレベーター	インバーター化し消費電力を約20%削減する。(次年度に延期)						
	平成21年	空調機	更新時には省エネ型空調機を導入する。						
	平成22年	照明	高効率蛍光灯、インバーター照明を順次導入する。						
温室効果ガスの排出量等	排出区分	基準年度(実績) (19)年度 (二酸化炭素換算)	目標年度(計画) (22)年度 (二酸化炭素換算)	増減率 (計画)	報告年度(実績) (21)年度 (二酸化炭素換算)	増減率 (実績)			
	A 事業所等排出区分	5,239.7 t	5,946.0 t	13.5 %	5,997.9 t	14.5 %			
	B 輸送車両排出区分	t	t	%	t	%			
	C その他排出区分	t	t	%	t	%			
	排出合計	5,239.7 t	5,946.0 t	13.5 %	5,997.9 t	14.5 %			
実績に対する自己評価		施設増加の為、エネルギー使用量は増加しました。今後もKESを中心とした省エネ活動を実施する。							
原単位当たりの温室効果ガス排出量等	用途区分	原単位の指標	基準年度(実績)	目標年度(計画)	増減率(計画)	報告年度(実績)	増減率(実績)		
	病院等	二酸化炭素換算 (大規模施設延床面積)	0.147 t-CO2/m ²	0.134 t-CO2/m ²	-8.8 %	0.135 t-CO2/m ²	-8.1 %		
		二酸化炭素換算			%		%		
		二酸化炭素換算			%		%		
実績に対する自己評価		施設数増加のため分母が大きくなり原単位は目標に近づきました。							
地球温暖化対策貢献量	対策等の区分	目標年度(計画)			報告年度(実績)				
		取組量等	(二酸化炭素換算)		取組量等	(二酸化炭素換算)			
	森林の保全及び整備	(整備面積)	ha	(吸収量)	t	(整備面積)	ha	(吸収量)	t
	市内産の木材の利用	(利用量)	m ³	(削減量)	t	(利用量)	m ³	(削減量)	t
	自然エネルギーを利用した電力又は熱の供給	(発電量)	kWh	(削減量)	t	(発電量)	kWh	(削減量)	t
		(熱供給量)	GJ	(削減量)	t	(熱供給量)	GJ	(削減量)	t
	グリーン電力の購入	(購入量)	kWh	(削減量)	t	(購入量)	kWh	(削減量)	t
	家庭における温室効果ガス排出量の削減効果分の購入	(購入量)	t	(削減量)	t	(購入量)	t	(削減量)	t
削減量等合計			t		t		t		
地球温暖化対策に資する社会貢献活動	定期的に近隣の河川清掃を行い環境負荷の低減に努めている。								
特記事項	*原単位について、延床面積は床面積の解る施設(病院)のみの数字で全ての施設の合計ではありません。 *車輛の燃料使用量は敷地内で使用する分だけとしました。 *新しい施設として洛和会みさき病院が追加になりました。								

- 注 1 該当する□には、レ印を記入してください。
 2 「基準年度」とは計画期間の前年度を、「目標年度」とは計画期間の最終年度を、「報告年度」とは計画期間のそれぞれの年度をいいます。
 3 「事業所等排出区分」とは本市の区域内の事業所等の事業活動のためのエネルギーの使用に伴い発生する温室効果ガスを、「輸送車両排出区分」とは自動車運送事業者については使用の本拠の位置を本市の区域内とする車両の排出する温室効果ガスを、鉄道事業者については保有する貨物車両又は旅客車両の排出する温室効果ガスを、「その他排出区分」とは上記以外の本市の区域内における事業所等の事業活動に伴い発生する温室効果ガスをいいます。
 4 「原単位当たりの温室効果ガス排出量等」の「用途区分」には、〇〇工場、事務所などの用途を記入してください。「原単位の指標」には、分子の「二酸化炭素換算」の下に分母となる指標(製造成品何個、延床面積、走行距離等)を記入してください。
 5 「地球温暖化対策貢献量」のうち「森林の保全及び整備」の「目標年度(計画)」欄には計画期間中の目標の累計を、「報告年度(実績)」欄には実績の累計を記入してください。
 6 「地球温暖化対策に資する社会貢献活動」には、省エネ製品開発など他者の温室効果ガス排出削減への貢献や地域における環境教育の実践活動など、地球温暖化対策や環境負荷の低減につながる活動を記入してください。
 7 「特記事項」には、1990年を基準とした排出量の対比や、温室効果ガス排出量の算定に当たって独自の係数を使用した場合など、説明を要する事項について記入してください。

